

## 宮崎大学医学部医の倫理委員会議事録

日 時：令和8年6月4日（木）14時00分～15時20分

場 所：医学部ミーティングルーム1・2（管理棟2階）

出席者：板井委員長、武谷委員、加藤委員、児玉委員、亀井委員、池田委員、柳田委員  
上山委員、藤久保委員、富山委員、山田委員、土井委員

欠席者：池之上委員、木下委員、澤口委員、上地委員

オブザーバー：清水講師、武井助手、三浦臨床倫理認定士、修士課程学生1名

委員会事務局：入来係長、水溜係員、河野係員、中山事務職員

### ショートレクチャー.

「第73回 LAMSEC 一般社団法人医学系大学倫理委員会連絡会議学術集会報告」

臨床研究支援センター教員より、最新の学術動向について報告があり、以下の内容が共有された。

- ・臨床研究の質向上に関する組織的支援
- ・審査と研究支援の分離の取り組み
- ・研究支援のための業務分担（タスクシフト）
- ・2024年ヘルシンキ宣言改訂のポイント
- ・倫理審査におけるAI活用の可能性と課題

引き続き、質疑応答が行われた。要点は以下のとおり。

- ・AI導入について、スピードアップのために早期導入を望む意見が出たが、委員長より、まずは事務チェックレベルからの検討が必要であるとの見解が示された。
- ・脆弱な集団の除外について、脆弱だからと安易に研究から外すことで、その集団へのエビデンスが蓄積されず、将来的に不利益（医療の恩恵を受けられない）を招く懸念について議論された。

### 報告事項1．議事要旨（令和8年4月2日開催分）

各自で資料を確認することとした。

### 報告事項2．持ち回り審査結果等報告について

各自で資料を確認することとした。

### 報告事項3．その他（委員会の運営および体制について）

委員長より、次の研究指針改正による諸制度の変化を見据え、本委員会が適切に審査機能を維持・継続していくための運営方針が示された。

以上